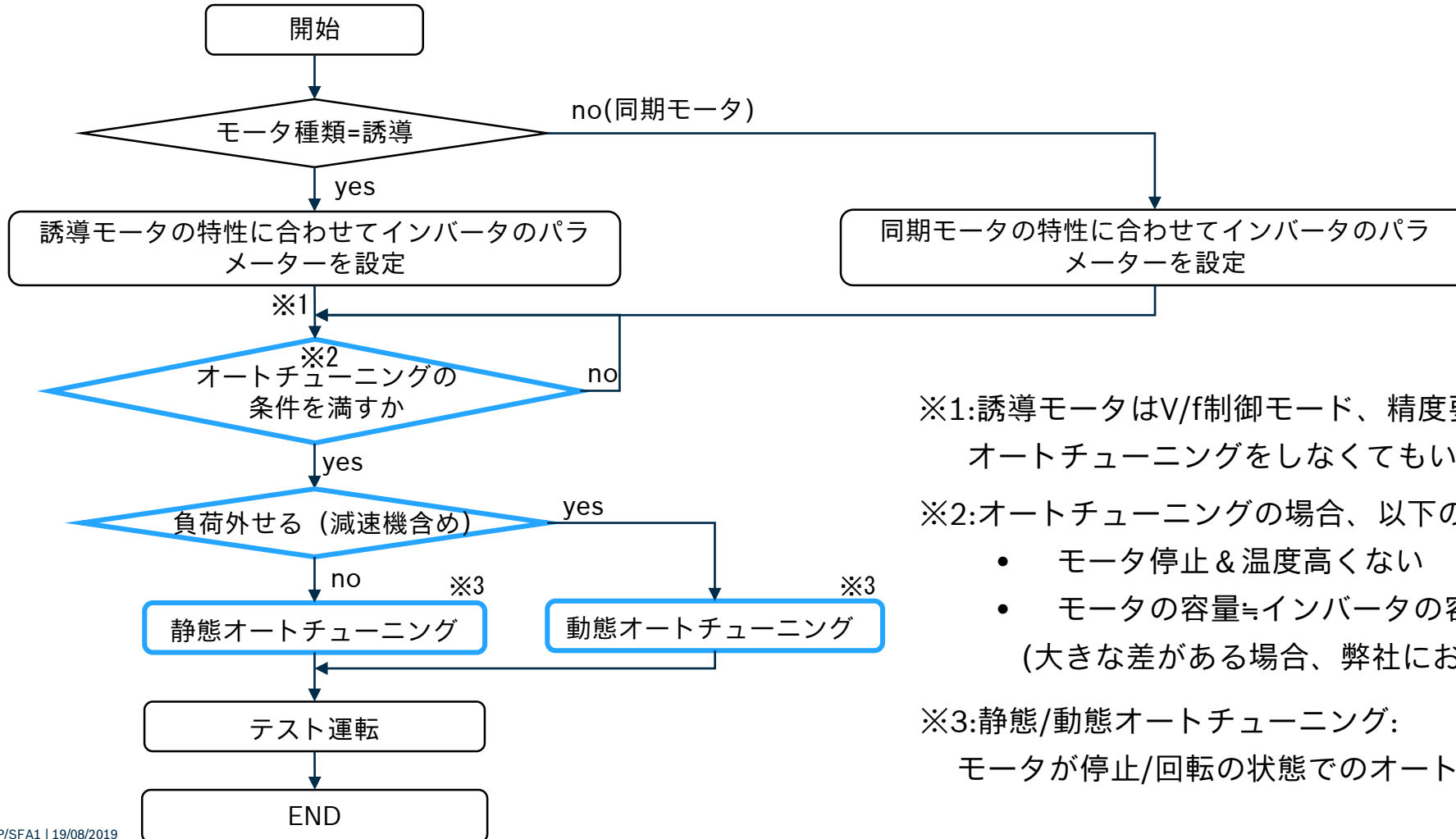


オートチューニングとは

- オートチューニング機能を通して、以下のパラメーターを自動的に設定することでインバータとモータが適切な制御状態になる

オートチューニング パラメータ設定	誘導モータ		同期モータ	
	静態オートチューニング	動態オートチューニング	静態オートチューニング	動態オートチューニング
C1.12: 滑り周波数	○	○	-	-
C1.13: モータ慣性仮数	-	○	-	○
C1.14: モータ慣性指数	-	○	-	○
C1.20: モータ無負荷電流	○	○	○	○
C1.21: ステータ抵抗	○	○	○	○
C1.22: ローター抵抗	○	○	-	-
C1.23: 漏れインダクタンス	○	○	○	○
C1.24: 相互インダクタンス	○	○	-	-
C3.00: 速度ループ比例ゲイン1	-	○	-	○
C3.01: 速度ループ積分時間1	-	○	-	○
C3.05: 電流ループ比例ゲイン	○	○	○	○
C3.06: 電流ループ積分時間	○	○	○	○

オートチューニングの流れ



※1:誘導モータはV/f制御モード、精度要求がない場合、オートチューニングをしなくてもいい

※2:オートチューニングの場合、以下の条件を満たす必要

- モータ停止 & 温度高くない
- モータの容量≒インバータの容

(大きな差がある場合、弊社にお問い合わせください)

※3:静態/動態オートチューニング:

モータが停止/回転の状態でのオートチューニング